



ライオンズクラブより寄付をいただきました。



6月21日、浮羽ライオンズクラブがウクライナ難民・避難民支援の募金活動金をうきは市長へ手渡しました。

これは6月19日にうきは市と久留米市の中高生72名がにじの耳納の里や道の駅うきはで募金活動を行ったもので、合計494,587円の寄付金が集まりました。うきは市はいただいた寄付金を日本赤十字社へウクライナ人道危機救援金として寄付いたします。

第72回「社会を明るくする運動」  
うきは市青少年弁論大会



6月12日、第72回「社会を明るくする運動」うきは市青少年弁論大会が開催され、市内の中高生15名が出場しました。

**中学校の部**

**最優秀賞** 浮羽中学校2年 河北うららさん  
「新聞を通して、私が考えたこと」

**優秀賞** 浮羽中学校3年 坂本夷澄さん  
「これが私の生き方だ」

**高等学校の部**

**最優秀賞** 浮羽究真館高等学校3年 高元憲志さん  
「キレイが生み出す縁」

日本空手道連合会 野上修一会長  
公認九段位授与記念祝賀会が開催されました



喜友名選手・金城選手・上村選手による演武



写真：右から、上村選手、野上修一会長、喜友名選手、佐久本嗣男会長、金城選手

7月9日、(公財)全日本空手道連盟から公認九段位を授与(令和3年12月)された野上修一会長の祝賀会が開催されました。野上会長は、吉井町「浄満寺」の住職でもあり、昭和38年に修武館道場を設立。市内外の多くの選手たちを育てています。平成18年には全日本空手道連盟公認範士に合格。

祝賀会には、東京オリンピック新競技、空手の男子形で日本選手として、初めての金メダルを獲得した喜友名諒選手をはじめ、沖縄で喜友名選手を指導している、劉衛流龍鳳会 佐久本嗣男会長と、形で長年団体を組んできた金城新選手と上村拓也選手が、「金メダルを取れたことを報告できたことで、ご助言いただいた野上会長へ恩返しができた。今日は演武を披露し会を盛り上げたい」とお祝いに駆けつけてくれました。